

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	7	事業名	松戸市公共下水道事業		路線又は箇所名等		手賀沼処理区		
事業所管課		下水道整備課			事業主体		松戸市		
事業化年度	昭和62年度	用地着手年度	—		工事着手年度	昭和62年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成53年度			
費用便益比 B/C	1.4	総費用	520億円	総便益	710億円	基準年	平成20年度	供用開始 年度	昭和62年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	406ha	356ha	328ha
処理人口	47,000人	42,170人	37,040人
事業費	203億円	158億円	138億円

【事業の進捗状況】

指標	状況
事業の進捗状況	平成20年度末までの整備面積見込みは、事業計画356haに対して、328haを整備し、整備率は92%である。
処理場用地の取得状況	—
処理施設の供用状況	—
供用開始区域の接続状況	接続率 83%
地元情勢等	市議会及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指標	状況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指標	状況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資源の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

松戸市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続する方針です。

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	7	事業名	松戸市公共下水道事業		路線又は箇所名等	江戸川左岸処理区			
事業所管課		下水道整備課			事業主体		松戸市		
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度	—		工事着手年度	昭和47年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成49年度			
費用便益比 B/C	1.7	総費用	5,612億円	総便益	9,429億円	基準年	平成20年度	供用開始 年度	昭和60年度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	5,314ha	3,415ha	2,916ha
処理人口	440,000人	362,650人	305,166人
事業費	2,657億円	1,538億円	1,375億円

【事業の進捗状況】

指標	状況
事業の進捗状況	平成20年度末までの整備面積見込みは、事業計画3,415haに対して、2,916haを整備し、整備率は85%である。
処理場用地の取得状況	—
処理施設の供用状況	—
供用開始区域の接続状況	接続率 94%
地元情勢等	市議会及び地元住民の理解・協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指標	状況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

指標	状況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資源の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

松戸市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続する方針です。

【別紙様式 4】

事業概要図					
番号	7	事業名	松戸市公共下水道事業	路線名又は箇所名	手賀沼処理区・江戸川左岸処理区
<p>松戸市公共下水道事業<汚水></p>					

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	7	事業名	松戸市公共下水道事業	路線又は箇所名等	手賀沼処理区
事業化年度	昭和62年度	用地着手年度	—	工事着手年度	昭和62年度

【再評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和62年度	対応方針	継続
B/C	—	総費用	—	総便益	—

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
審議の結果、事業の継続が妥当であるとの意見となった。

再評価時の進捗状況

	計 画	進捗状況
全体事業費	203億円	70億円
用地取得面積	—	—
供用面積(延長)	406ha	176ha

【再々評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和62年度	対応方針	継続
B/C	1.4	総費用	520億円	総便益	710億円

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況
全体事業費	203億円	138億円
用地取得面積	—	—
供用面積(延長)	406ha	328ha

再評価後の
経過及び
処理状況

再評価時から現在に至るまで、順調に事業が進展している。

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	7	事業名	松戸市公共下水道事業	路線又は箇所名等	江戸川左岸処理区
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度	—	工事着手年度	昭和47年度

【再評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和60年度	対応方針	継続
B/C	—	総費用	—	総便益	—

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
審議の結果、事業の継続が妥当であるとの意見となった。

再評価時の進捗状況

	計 画	進捗状況
全体事業費	2,657億円	1,023億円
用地取得面積	—	—
供用面積(延長)	5,314ha	2,269ha

【再々評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和60年度	対応方針	継続
B/C	1.7	総費用	5,612億円	総便益	9,429億円

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況
全体事業費	2,657億円	1,375億円
用地取得面積	—	—
供用面積(延長)	5,314ha	2,916ha

再評価後の
経過及び
処理状況

再評価時から現在に至るまで、順調に事業が進展している。